

北地区振興会



本渡北地区振興会
本渡北公民館

〒863-0012
天草市今釜町10番43号
☎・FAX 0969-23-4734
電子メール
kita-ko@city.amakusa.lg.jp

クイズなどを楽しみながら市街地散策! 北地区ウォークラリー

11月15日、北小学校をスタート・ゴールとする約8kmのコースで「第2回北地区ウォークラリー」を開催しました。これは、地域の魅力の再発見や健康づくりなどを目的に昨年から実施しているものです。当日は、家族連れなど136人が参加。国指定重要文化財の祇園橋や殉教戦千人塚、明德寺、延慶寺、来年4月に開校予定の新・本渡中学校など8カ所のチェックポイントをめぐり、各ポイントでクイズに挑戦したほか、星光園では車いすの乗車や点字作成を体験するなど、参加者は晩秋の楽しいひとときを過ごしていました。また、ゴール後には天草エアラインの福岡便往復航空券（ペア）や折りたたみ自転車など豪華賞品が当たる抽選会も実施。当選番号が発表されるたびに、大きな歓声があがっていました。



▲北小学校を元気いっぱいスタート!



▲点字作成の体験をする親子



▲豪華賞品が当たる抽選会。「次は何番かな~」



▲「祇園橋を支えている石柱は全部で何脚？」

12~1月の行事予定

- 12月17日(木) 観光ガイド養成講座
- 29日(火)~1月3日(日)
- 北公民館休館
- 1月3日(日) 新成人のつどい
- 9日(土) 北老連役員会
- 小学生料理教室
- 14日(木) 観光ガイド養成講座
- 15日(金) 北小児童と民生委員とのコマ回し交流会



料理教室の参加者募集!

【小学生料理教室】

- ▶対象=北小学校の1~6年の児童(保護者は参加不可)。
- ▶とき=1月9日(土)午前10時~。
- ▶ところ=北公民館。
- ▶メニュー=ご飯、雑煮、酢の物、ぜんざい。
- ▶参加料=無料。
- ▶定員=先着20人。
- ▶持参品=エプロン、三角巾、タッパー、水筒(お茶)。
- ▶申込方法=12月15日(火)から同25日(金)までに、電話で北公民館☎23-4734へ。

【健康料理教室】

- 生活習慣病を予防するため、栄養バランスに配慮した食事などについて学びます(託児はありません)。
- ▶とき=1月18日(月)午前10時~。
- ▶ところ=①天草中央保健福祉センター②北公民館。
- ▶メニュー=未定。
- ▶参加料=100円。
- ▶定員=各20人(先着順)。
- ▶申込方法=1月13日(水)までに、電話で天草中央保健福祉センター☎24-3737へ。

より一層住みよい北地区を目ざして

11月16・17日、北区長会の先進地視察研修を長崎市と島原市で行い、各区長さんなど16人が参加しました。今回は、長崎市の自治会が取り組む“生ごみリサイクル”や“自治会加入促進モデル事業”の活動内容のほか、島原市のまちづくり研究会が策定した“まちづくり協働プラン”の策定方法などについて研修。金子洋介・同会副会長は「より一層住みよい北地区とするために、今回の研修で学んだことを、今後の活動に生かしていきたい」と話していました。



▲長崎市の自治会役員や市職員から説明を受ける区長さんたち

北地区ミニバレーボール大会

小松原Aが優勝！2位・大矢崎A、3位・馬場

「第20回北地区ミニバレーボール大会」を11月30日から12月3日までの4日間、北小学校体育館で開催しました。今大会には、各区から17チームが参加。3パートに分かれて予選リーグを実施し、小松原A・中村・山仁田A・馬場・大矢崎A・大矢崎Bが決勝リーグに進出。決勝リーグで2勝した小松原Aと大矢崎Aが決勝戦を行い、小松原Aが4連覇を目ざす大矢崎Aに31対27で勝ち、見事優勝を飾りました。3位決定戦は、馬場が31対26で中村に勝利しました。



▲優勝した小松原Aチームの皆さん

北体育振興会が奨励金贈呈

目標は全国優勝！吉田真人香さん

第18回JOCジュニアオリンピックカップ2009ハンドボール大会に、熊本県選抜チームの一員として出場する本渡中3年の吉田真人香さん(北浜町)に12月2日、北体育振興会から奨励金が贈呈されました。北公民館で行われた贈呈式で奨励金を受け取った吉田さんは「悔いを残さないよう、守りの要として精一杯プレーします。目標は優勝です」と力強く語っていました。同大会は12月24～28日に名古屋市で開かれます。皆さんの温かいご声援をお願いします。



▲金澤一紀・北体育振興会会長から奨励金を受け取る吉田真人香さん(写真左)

ダンボールコンポスト・フォローアップセミナー

“生ゴミの堆肥化”楽しみながら続けて！

北女性部の第2回らくらく教室「ダンボールコンポスト・フォローアップセミナー」を12月3日、北公民館で開きました。セミナーには、今年8月の同講習会受講後に取り組みを始めた主婦など15人が参加。講師の県環境教育指導者・井手尾真美さんは、生ゴミをじょうずに堆肥にするコツなどを説明した後、参加者が持参した土を手にとってチェックし、「水分量もほどよく、堆肥として使用できます。今後も楽しみながら取り組みを続けてほしい」と話していました。



▲参加者が持参した土を手に取り、湿り具合などを確かめ合う皆さん